



(公社) 日本気象学会九州支部 第23回気象教室

どなたでも聴講できます

「地球温暖化による冬の異常気象」

【演題項目】

■「冬の異常気象のメカニズムと気候変動との関わり」

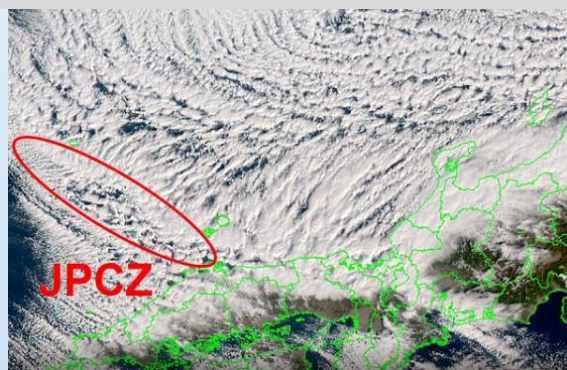
山崎 哲

(海洋研究開発機構アプリケーションラボ 研究員)

■冬の異常気象と地球温暖化

西井 和晃

(三重大学大学院生物資源学研究科 准教授)



大雪をもたらす典型的な気象衛星画像の例

写真は2021年12月26日09時15分(JST)の気象衛星画像。

12月26日から27日にかけて日本付近は強い冬型の気圧配置となり日本海側を中心に大雪となりました。気象衛星(ひまわり8号)の画像では、日本海に筋状の雲域が広がり、日本海寒帯気団収束帯(JPCZ: Japan sea Polar air mass Convergence Zone: 冬の日本海で寒気の吹き出しに伴い発生する1000km程度の収束帯)に伴う発達した雪雲の帯が西日本の日本海側に流れ込む様子がわかります。(気象庁ホームページより)

開催日時: **2022年11月13日(日)**
13:00~15:30(開場12:30)

開催方法: オンライン開催 (Zoom会議)

ホスト会場: 福岡管区気象台

定員: 300名

申込方法: スマートフォンで右のQRコードを撮影するか、パソコンで下記URLアドレスのウェブサイトへアクセスして、申込様式に必要事項を入力してください。

気象学会九州事務局のホームページからもアクセスできます。

https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZ1kd-uhqDIoEtTY_4rYi-5UKVW2SHW7NJqd

申込締切: 11月8日(火)

主催: (公社) 日本気象学会九州支部

問合せ: 電話 092-725-3614

福岡管区気象台防災調査課
(平日9時~17時)

参加無料
事前申込が必要です

気象学会九州



講師・講演内容紹介



雪の上の足跡(北陸) 山崎氏撮影

講演 1

山崎 哲 (やまざき あきら)



講演題目

冬の異常気象のメカニズムと気候変動との関わり

講演概要

日々私たちの見る天気図の背後には、ゆっくりと変化するより大きな大気の循環(大気大循環)が存在し、それが各月・各冬ごとに変動しています。これらが引き起こす日本(日本海側・太平洋側)での冬の異常気象、特に豪雪イベントについて紹介します。

略歴

- ・2007年3月 九州大学理学部地球惑星科学科卒業
- ・2012年3月 九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻博士課程修了・博士(理学)
- ・2014年3月 独立行政開発法人海洋研究開発機構地球シミュレータセンター研究員
- ・2014年4月 国立研究開発法人海洋研究開発機構アプリケーションラボ研究員

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会
- 13:05 支部長挨拶
- 13:15 講演 1
「冬の異常気象のメカニズムと気候変動との関わり」
山崎 哲
- 14:00 質疑・応答
- 14:15 休憩
- 14:25 講演 2
「冬の異常気象と地球温暖化」
西井 和晃
- 15:10 質疑・応答
- 15:25 閉会
- 15:30 終了

講演 2

西井 和晃 (にしい かずあき)



講演題目

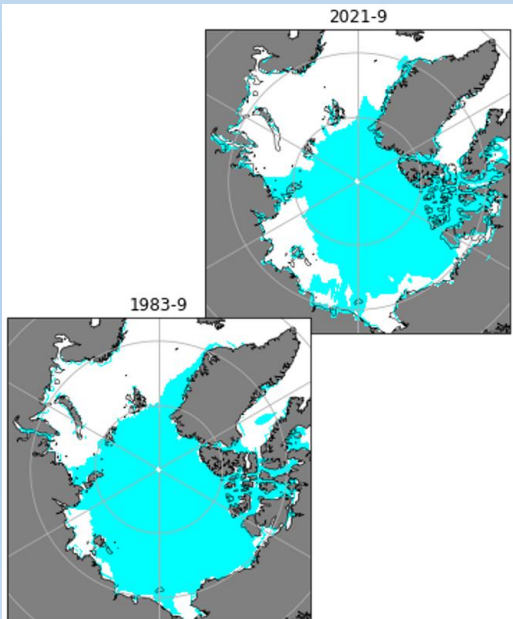
冬の異常気象と地球温暖化

講演概要

地球温暖化によって気温が上昇していると言われていますが、寒い冬は近年でも発生します。こうした日本での寒い冬が、地球温暖化による北極海の海水の減少によって引き起こされているとも言われています。このような、地球温暖化が冬の異常気象に与える影響について紹介します。

略歴

- ・2006年東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程修了。博士(理学)。
- ・東京大学研究員、東京大学先端科学技術研究センター助教などを経て、2016年より現職。



1983年9月(左下)と2021年9月(右上)の北極海の海水分布